

平素より大変お世話になっております。
このたび小社では、標記の書籍を刊行する運びとなりましたのでご案内申し上げます。

都築響一が、忘れ去られた
日本の文化遺産の魅力を問う！
400ページ超えの大ボリューム
2冊同時刊行！

『秘宝館』『ラブホテル』



著者への取材などご要望がございましたら、下記担当までご一報下さい。何卒よろしくお願い申し上げます。

株式会社青幻舎 東京支社

〒101-0054 東京都千代田区神田錦町3-14-3-6F

TEL 03-6262-3420 / FAX 03-6262-3423

広報担当・佐藤 | sato@seigensha.com

■ 書籍概要

『秘宝館』『ラブホテル』

——忘れ去られた日本の裏文化遺産をほじくりだす。



『秘宝館』

空前の観光ブームのなか1970年代～観光地に誕生したオトナの娯楽施設「秘宝館」。斬新奇抜な創造力が溢れる、それぞれの館の演出は現代においても新鮮に映る。昭和という時代が生んだ性のアミューズメントパークは、アート空間のようだ。秘宝館のその後を追った、2023年に取材した写真、原稿も掲載。



本書に登場する秘宝館のほとんどはもう存在しないし、たぶんここでしか写真すら見られない秘宝館もある。子どもがオトナになるくらいの、ほんの少し前に、日本人がこんなにヘンな場所をつくって、それが裏観光名所として賑わっていた時代があったこと。それを恥ずかしく思うか、楽しく思うかで、僕らの国を見る眼差しはずいぶん変わってくるはずだ。

都築響一



『ラブホテル』

「ラブホテル」、それは昭和・平成の色香にむせる愛の空間。

急速に姿を消しつつあった2000年代に遊びどころ溢れるインテリアを探し歩いた全73室。オトナの夜の夢！

2023年に取材した最新ラブホデザインも追加！



レトロとは「過ぎ去った時代のいいところだけを見てとる」技術でもある。戻れない時代に憧れるのはそれだけで楽しいけれど、このささやかな記録のコレクションから、当時のカップルがどんな驚きと興奮でこんな部屋を楽しんだか、そのドキドキワクワク感に思いを馳せ、それがいまから数十年後に「レトロ・デザイン」として愛でられるような新しいスタイルの創造につながっていくとしたら、僕としては最高にうれしい。

都築響一

2冊セットの『特装版[®]BOX』発売

クリエイティブな遊びどころ溢れるオトナのデザイン決定版BOX。



■ 著者プロフィール

都築響一（つづき・きょういち）

1956年東京生まれ。1976年から1986年まで「POPEYE」「BRUTUS」誌で現代美術・デザイン・都市生活などの記事を担当する。1989年から1992年にかけて、1980年代の世界現代美術の動向を包括的に網羅した全102巻の現代美術全集『アートランダム』を刊行。以来、現代美術・建築・写真・デザインなどの分野で執筆活動、書籍編集を続けている。1993年、東京人のリアルな暮らしを捉えた『TOKYO STYLE』を刊行。1997年、『ROADSIDE JAPAN 珍日本紀行』で第23回木村伊兵衛写真賞を受賞。現在も日本および世界のロードサイドを巡る取材を続けている。

■ 書誌情報

書名：秘宝館
発売予定：2023年9月下旬
著者：都築響一
アートディレクション：COCHAE
判型：A6
ページ数：448頁
定価：2,530円（本体2,300円）
ISBN：978-4-86152-924-5 C0072

書名：ラブホテル
発売予定：2023年9月下旬
著者：都築響一
アートディレクション：COCHAE
判型：A6
ページ数：448頁
定価：2,530円（本体2,300円）
ISBN：978-4-86152-925-2 C0072

書名：『秘宝館』『ラブホテル』特装版[®]BOX
発売予定：2023年9月下旬
著者：都築響一
アートディレクション：COCHAE
判型：A6
ページ数：各448頁
定価：5,060円（本体4,600円）
ISBN：978-4-86152-930-6 C0072